

平成20年度 経営協議会学外委員からの本学に対する意見等と対応状況

経営協議会	学外委員からの意見等	本学の対応状況
第1回 (平成20年6月24日開催)	<ul style="list-style-type: none"> 授業料の1%を学生支援経費として措置されていることは、大いに評価される。使い方について何か奨学金的なものを含め、更に検討されてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生に対する充実した支援体制の確立を図ることを目的として「目に見える支援方策」を策定し、その中で「学業成績優秀者奨学金」を設け、前年度1年間の学業成績が優秀で、かつ、人物的に優れた第2年次以上の学生に対し、返還を要しない奨学金を支給した。(学部及び大学院を合わせて116名に支給)
	<ul style="list-style-type: none"> 定員の充足状況について、課程毎の充足は満たしているが、専攻毎で見るとバラツキがあり、今後、組織再編の中で検討されてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 組織再編検討委員会、学生教育組織検討部会において、学士課程、修士課程、博士課程の定員充足状況の把握と各教育課程の在り方について検討中である。
	<ul style="list-style-type: none"> 薬学教育の2年延長に伴う、施設及び教員の充実を検討願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度当初予定事業として、総合研究棟(薬学系)2,070㎡の増築が伝達されており、平成21年度中の完成に向け準備を進めている。また、既存薬学部校舎については、耐震補強及び全面改修を引き続き要求することとしている。そして、全学定員を流用する措置により、薬学6年制教育担当教員の配置について充実を図った。
第2回 (平成20年9月25日開催)	<ul style="list-style-type: none"> 運営費交付金の削減分に対する、中長期的な対応についてお聞きしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 教養教育の集中、教員評価の実施等、本学の組織等を見直し、効率的な運営を図ることとしている。
第3回 (平成21年1月27日開催)	<ul style="list-style-type: none"> 医学部看護学科の入学定員増により、入学定員を減ずる学部の教員数を減じないのであれば、入学定員増に係る人件費等について明確にすべきではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 人件費に関しては富山県との協議の中で、寄附講座の活用も含め、大学と県が連携して対応することを検討している。
	<ul style="list-style-type: none"> 評価において指摘や改善事項が求められた学部研究科等においては、評価結果を教員に示し、学部長がリーダーシップを持ち改善してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学内規則に基づき学長から、改善が必要な事項を所掌する理事及び部局長に対して、改善を指示した(2/4、3/10)付)。指示を受けた理事及び部局長は、理事室や部局における検討を経て改善計画を作成し、それに基づき改善の取り組みを始めており、1年後(H22.2.28)までに改善状況を学長へ報告することとしている。
第4回 (平成21年3月24日開催)	<ul style="list-style-type: none"> 富山大学の情報は、全国的に発信されていないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報タスクチームで、広報の在り方について検討を行っている。また、本学に関する情報は、ホームページに掲載すると共に、報道機関への積極的な情報提供に努めている。